R82®

stingray™

取扱説明書

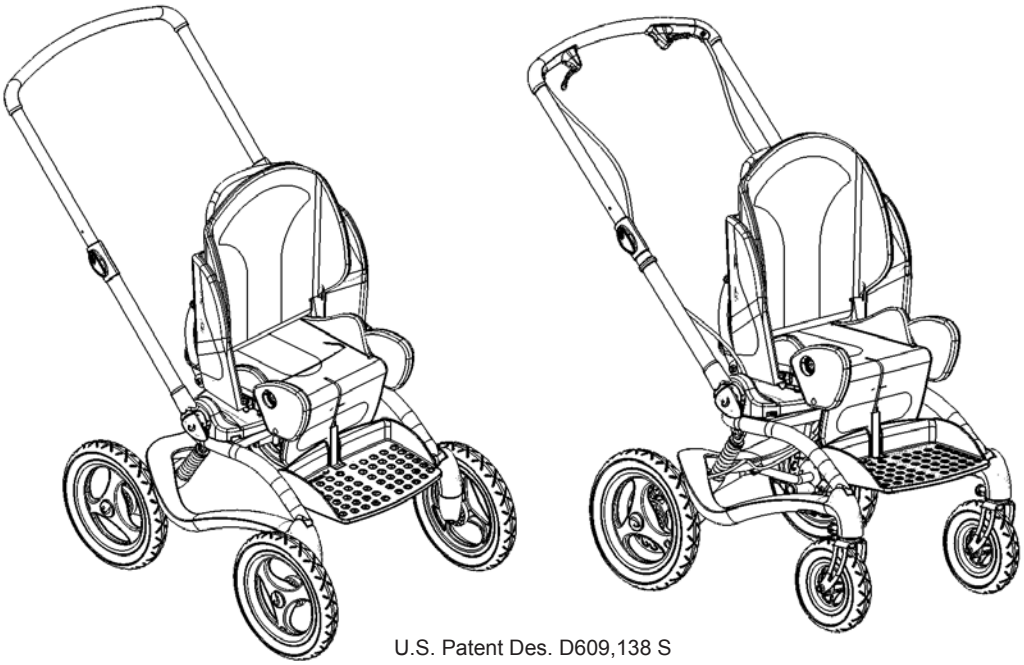
輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西１丁目４番２２号 梅田東ビル
ＴＥＬ(06)6371-0104 ＦＡＸ(06)6371-6400

© 2010 R82 A/S. All rights reserved.
The R82 logo and the Stingray are registered trademarks of R82 A/S.

07.2011

JP 目次

＜安全性＞....4
＜保証規定＞....4
＜付属工具＞....4
＜ご使用前のご準備＞....5
＜フレーム＞....6
＜後輪車輪＞....6
＜サスペンション＞....6
＜ティルトリクライニング＞....7
＜プッシュブレス調節＞....7
固定式キャスター....7
＜パーキングブレーキ＞....8
＜ハンドブレーキ＞....8
＜シート各部調節＞....9
＜フィックスロック＞....9
＜フットサポート＞....9
＜背もたれ高さ調節＞....10
＜背もたれリクライニング＞....10
＜座面奥行き調節＞....10
＜ヒップサポート＞....11
＜対面式シート＞....12
＜シート取付/取外し＞....12
＜保管方法＞....13
＜お車での移動＞....14
＜移動の際のご準備について＞....15
＜お車での安全確保について（本体）＞....16
＜お車での安全確保について（お子様）＞....17
＜製品識別＞....18
＜寸法表＞....19
＜メンテナンス＞....20
＜テクニカルﾃﾞｰﾀｰ＞....21
＜製造者＞....21
＜販売店＞....21



U.S. Patent Des. D609,138 S
U.S. Patent Des. D602,405 S
Norwegian Design Reg. No. 81500
Pat. Pend.

JP STINGRAY

この度は、Stingrayをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品は、R82社（デンマーク）の長年にわたる経験によって開発された障がい児童向け座位保持機能付車いすです。お子様、介助者の方々にとって最高のパートナーとして、皆様のご期待に添えるものと確信しております。

Stingrayは、洗練されたデザインとお子様の快適性・機能性を追及いたしております。

シートは180度回転しますので、介助者の方がお子様の表情を見ながら走行できる対面式でもご利用いただけます。対面式は、お子様が本製品にお乗りになられた状態でも可能です。

お子様の成長に応じ、シートの奥行き・背もたれ高さ等簡単に調節が行えます。また、お子様の身体状況に合わせ多種多様なアクセサリーもご用意いたしております。

本取扱説明書をお読みいただき、本製品の持つ特徴をご理解の上、日々のご使用にお役立てください。
尚、品質・性能向上およびその他の事情による部品等の変更で、お手元の製品と本書の内容が一部一致しない場合がありますので、予めご了承ください。

JP ＜安全性＞

本製品は、CEマーク商品です。これは、ヨーロッパの安全規格を満たしていることを証明しております。また、本製品はISO-7176/19-2001,EN12182,EN12183の認証を受けております。本製品の耐用年数は、日常の基本的なご使用のもとにおいて5年です。今後少しでも長くご愛用いただくために、定期的な製品チェックを受けてください。

お子様の安全性に関わる記載もございますので、本取扱説明書をご使用前に必ずお読みの上、大切に保管してください。

本製品を改造、或いはR82社純正以外の部品を使用された場合は、このCEマークを取外してください。

本製品は一人乗りです。二人以上はお乗りにならないでください。

本製品を直射日光の当たる場所に長時間置いたり、保管しないでください。　お子様をシートに乗せられる前にシートが熱くなっていないか確認してください。

本製品をご使用の際には、必ず保護者の方が付添ってください。　また、大人の方が管理するようにしてください。　誤ったご使用方法は、お怪我や事故を引き起こす可能性があります。　ご使用前に、製品にベルト等しっかり固定されているか確認してください。

ハンドルに買物袋等かけられますと安定性に影響をおよぼすことがありますのでご注意ください。

最新の取扱説明書は、下記ホームページにてご覧いただけます。www.R82.com

お子様がお乗りになる際は、ベルトでしっかり固定されてから各調節を行ってください。

JP ＜保証規定＞

フレームは製造上の不良に対して2年間、溶接の不良により発生したメタルフレームの破損に対しては5年間の品質保証がなされています。但し、この取扱説明書に記載されている正しいご使用方法をお守りいただき、（お客様の責任において）定期的なメンテナンスを受けられていることを前提としております。お客様の過失なく、ご購入いただいた国でのご使用かつ製造番号の確認がとれた場合のみ保証が有効となります。

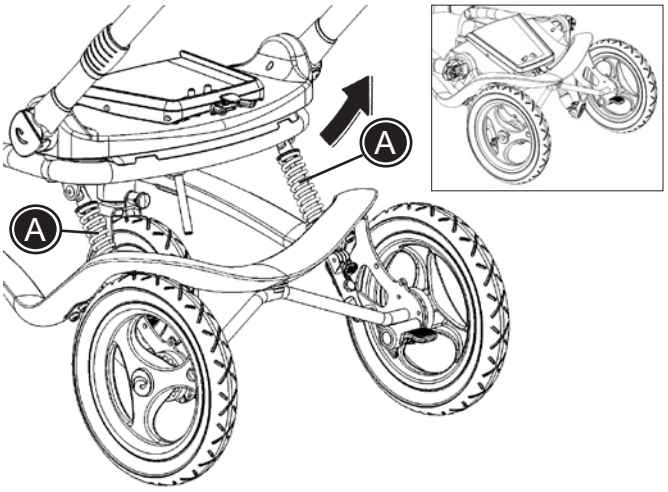
またこの品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定されるもので、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。これは最初の原購入者に限定されます。万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時には、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれをおこないます。この保証はR82社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、認定を受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。弊社は保証同意前に、その製品又は関連する書類を検査する権利を有しております。

JP ＜付属工具＞

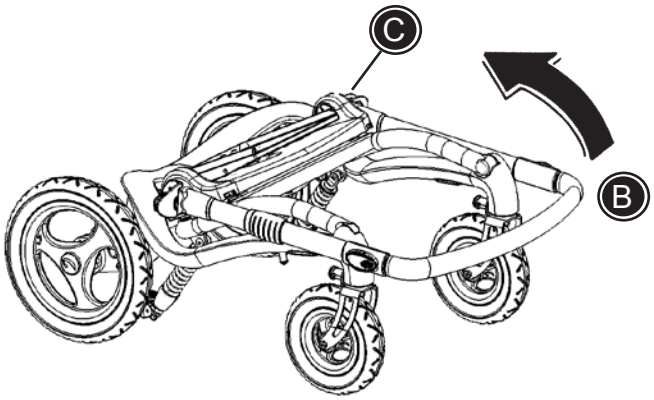
本製品には工具セットは付属されております。付属内容：レンチ（３mm、４mm、５mm）
本取扱説明書に記載されている調整を行う際は、これらの工具をお使いください。

JP ＜ご使用前のご準備＞

* 箱から本体を取出してください。
* フレームの後部（A)を引上げてください。その際、ロックがかかっているか確認してください。（ロックがかかる際”カチッ”と音が鳴ります)
* 同様にプッシュブレスを引上げてください。（ロックがかかる際、″カチッ”と音が鳴ります)
* ハンドルをロックしてください。（C)

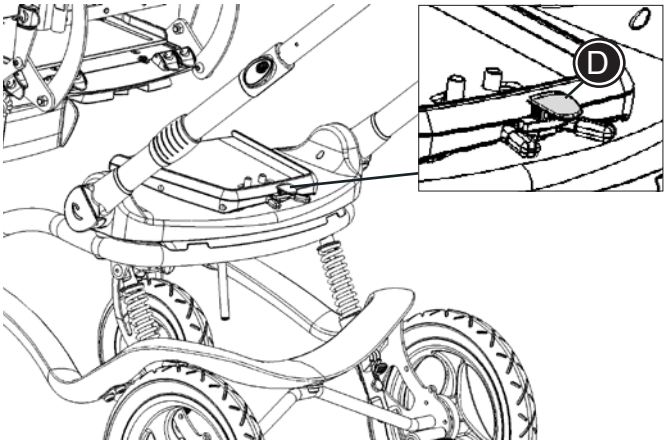


> 後部の赤いセキュリティーハンドル（D)は解除しておいてください。 ハンドルが下に下がった状態の場合、シートがインターフェースに正しく取りつきませんのでご注意ください。



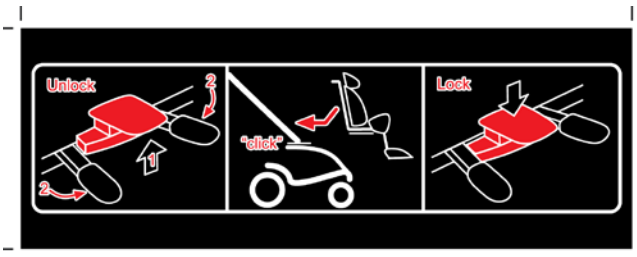
* ”カチッ”と音が鳴るまでシートをインターフェースにスライドさせてください。 確実に固定されているか、シートを動かして確認してください。

* フレームにシートを取付後、赤いセキュリティーハンドル（D)を下に下げてください。



次項以降に背もたれ・座面・フットプレート各部調整方法が記載されております。

上記完了後、ご使用いただける状態となります。



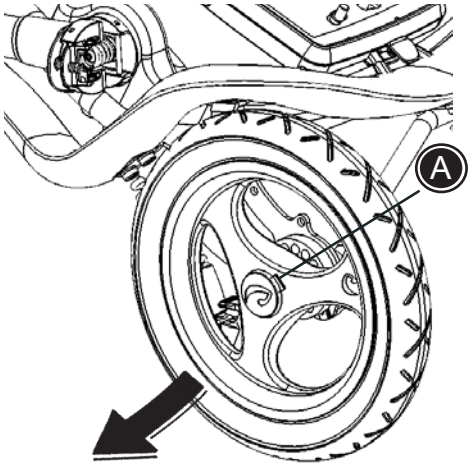
JP ＜フレーム＞

フレームは次のタイプよりお選びいただけます。

＊ 前後輪大車輪又は
＊ 後輪大車輪/前輪小車輪

＊ フットレストパーキング
＊ フットレストパーキング/ハンドブレーキ
＊ フットレストパーキング（セパレイトタイプ）
＊ フットレストパーキング（セパレイトタイプ）/ハンドブレーキ

タイヤの空気圧は最大36PSI/2,5barを保ってください。



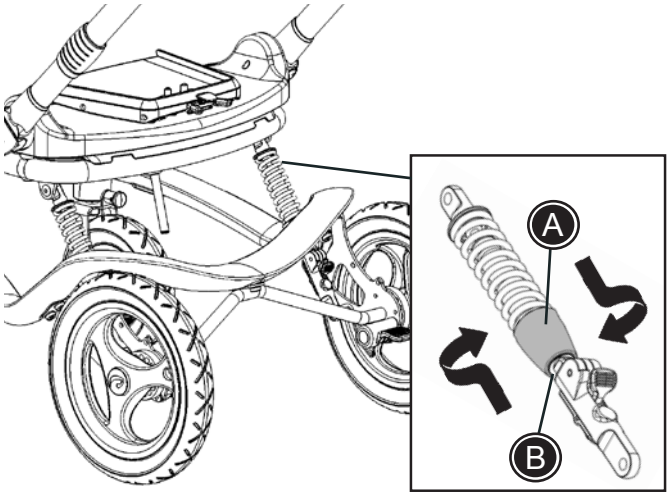
JP ＜後輪車輪＞

コンパクトで簡単に持上げやすくするために、後輪車輪を外すことができます。

＊ ボタン（A)を押して、車輪の取付け/取外しを行ってください。

車輪が正しくセットされたか確認してください。（正しくセットされると”カチッ”と音が鳴ります)

ドラムブレーキ付の車輪は取外すことができません。



JP ＜サスペンション＞

サスペンションは調節することが可能です。

＊ サスペンションを強める場合は、ハンドル（A)を時計回りに回してスプリングを縮めてください。
サスペンションにより弾力性を持たせる場合は、ハンドル（A)を反時計回りに回してスプリングを緩めてください。

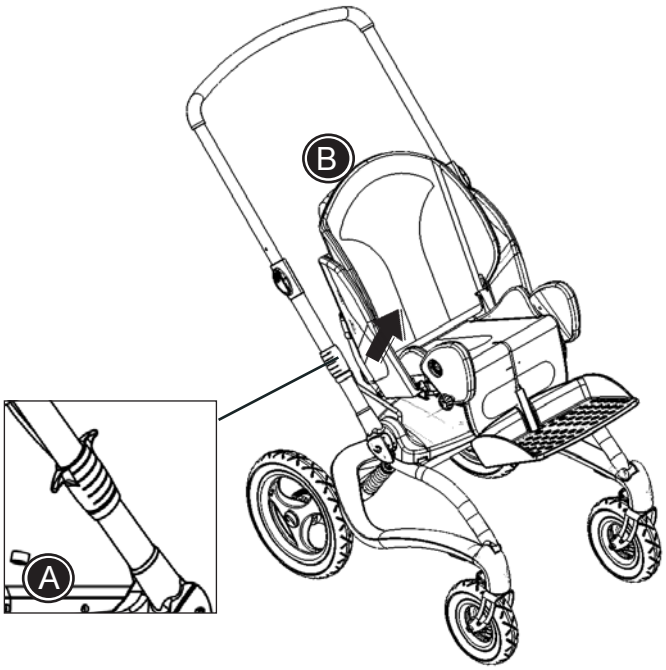
左右両側のサスペンションを同じ位置にセットするために、表示器（B)をご使用ください。

JP ＜ティルトリクライニング＞

フレーム右側のハンドル（A)を引上げるとティルトリクライニングが行えます。

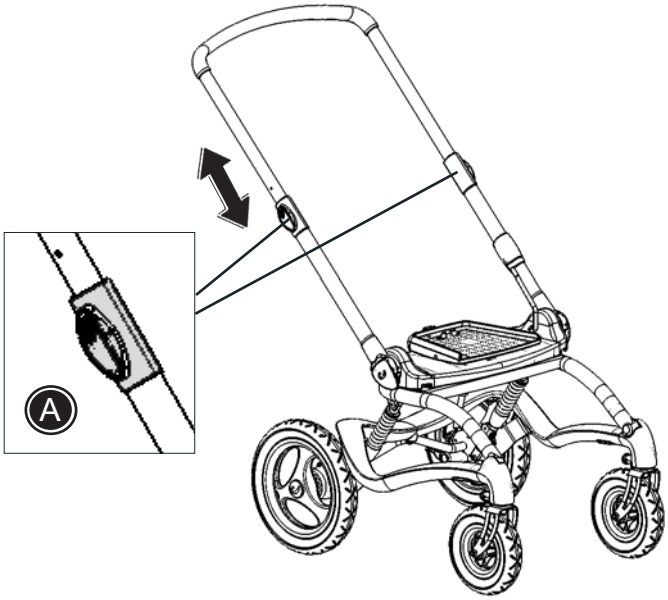
ティルトリクライニングを行う際は、急にシートが動かないように背もたれをしっかり支えてください。

シートとフレームの間に指を挟まないようにご注意ください。



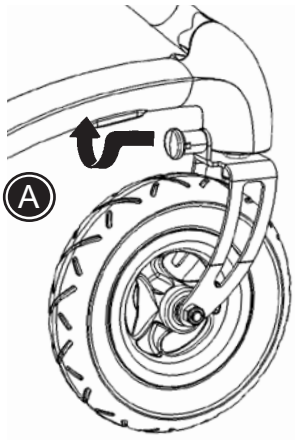
JP ＜プッシュブレス調節＞

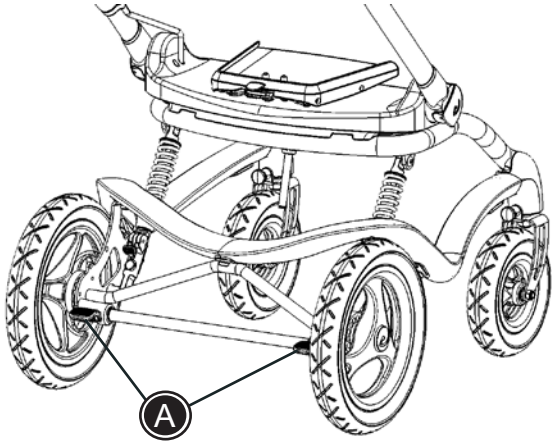
プッシュブレスはハンドル両側のボタン（A)を押してご希望の位置に調節が可能です。

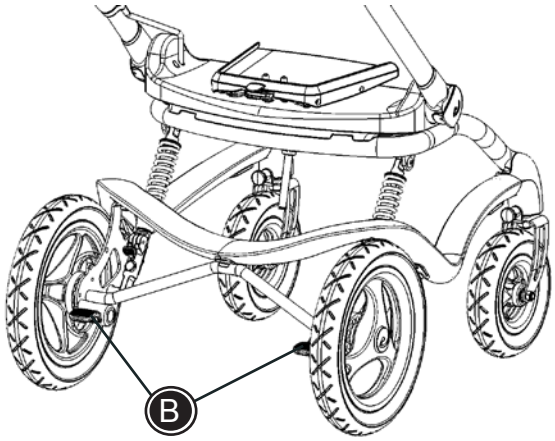


JP 固定式キャスター

キャスターはピン（A)をセットすることで固定式としてご使用いただけます。







JP ＜パーキングブレーキ＞

パーキングブレーキは連結式、2点式タイプよりお選びいただけます。

連結式パーキングシステム

＊ ペダル（A)を踏んでブレーキをかけてください。（片側を踏むだけでブレーキがかかります)

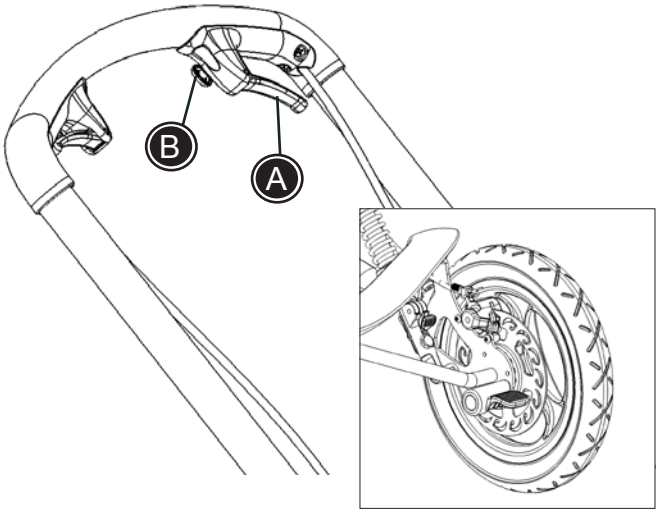
他社製のバギーボードをこのシステムに取付けることができます。

2点式パーキングシステム

＊ 両側のペダル（B)を踏んでブレーキをかけてください。

本製品を駐車される際は、必ずブレーキをかけてください。

ブレーキが正常に作動しているか・穴にグリースや汚れが付着していないか定期的に確認してください。



JP ＜ハンドブレーキ＞

本製品はハンドブレーキを取付けることが可能です。

＊ ハンドル（A)を握ってブレーキをかけてください。

＊ 赤いボタン（B)を押してロックしてください。

＊ 再度ブレーキを握ると解除されます。

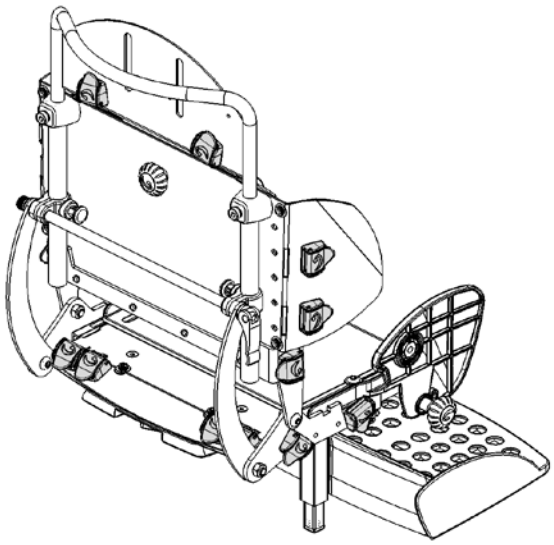
JP ＜シート各部調節＞

下記シート各部調節は、次項をご参照ください。

＊ 背もたれ高さ調節
＊ 背もたれリクライニング
＊ 座面奥行き調節

JP ＜フィックスロック＞

各種ベルトを簡単に取付けるためのフィックスロックが装備されておりますのでご活用ください。



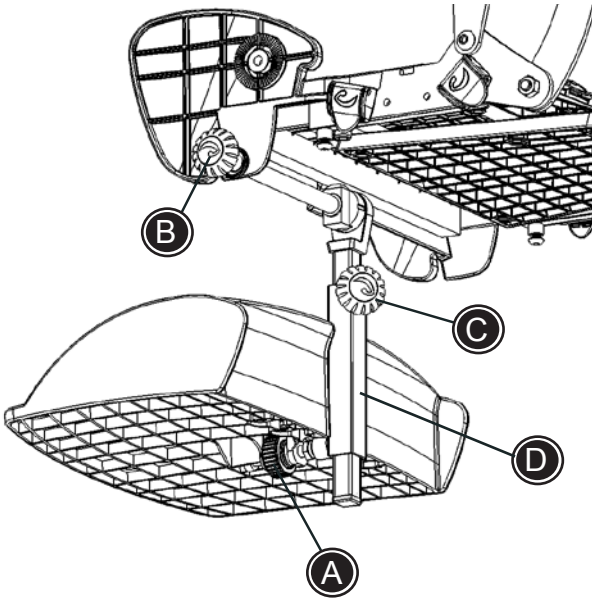
JP ＜フットサポート＞

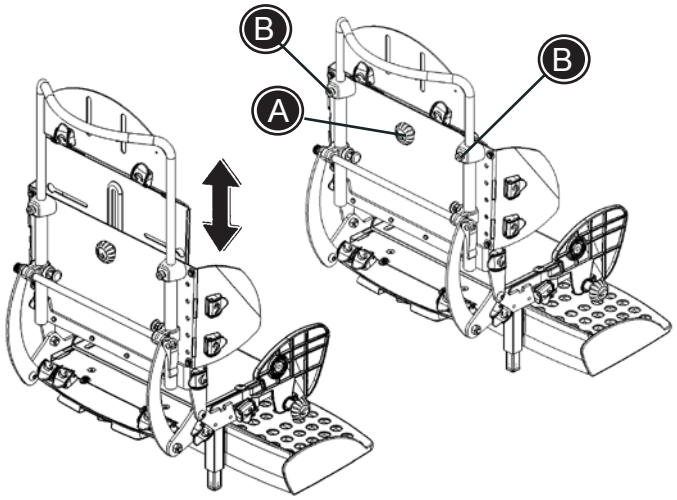
お子様がシートから滑り落ちないように、フットサポートしっかりサポートしてください。

⚠ フットサポートの上に立って乗り降りしないでください。

＊ フットプレート角度調節（A）
＊ フットサポート角度調節（B）
＊ 高さ調節（C）

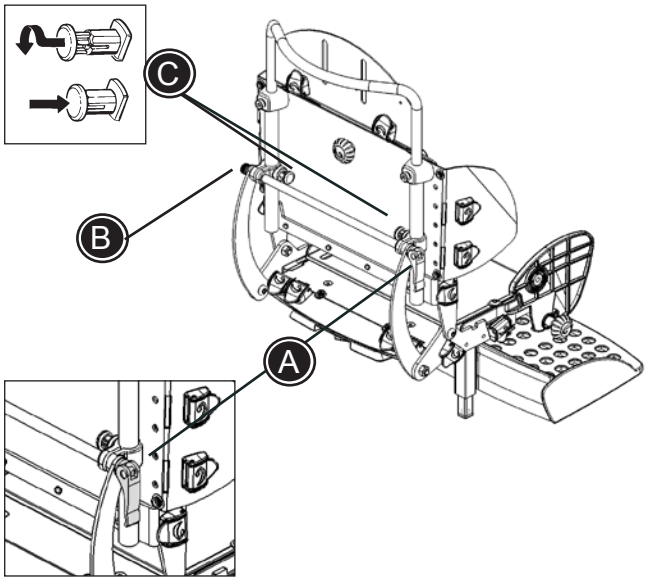
ⓘ フットサポートバーを上下逆に設定変更すると、フットプレートをより下げることが可能です。





JP ＜背もたれ高さ調節＞

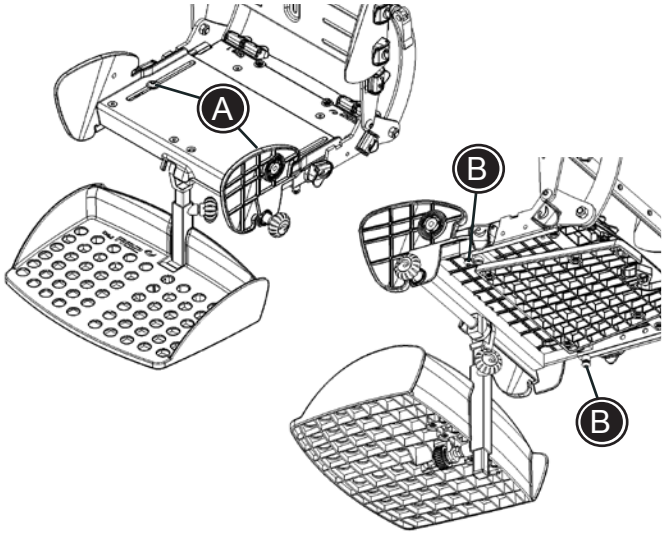
ハンドル（A)、両側ネジ（B)を緩めると、背もたれの高さ調節が行えます。　ご希望の位置でハンドル、ネジをしっかりと締めてください。



JP ＜背もたれリクライニング＞

背もたれ右側のハンドル（A)を上に引上げてロックを解除してください。　ハンドルを握って、フレーム左側のノブ（B)を左回りに緩めてください。　背もたれを支えながら、両側の安全ロック（C)を引回してロックを解除してください。　背もたれをご希望の角度に調節し、安全ロック（C)でロックしてください。　ハンドル（A)を握って、ノブ（B)を締め、最後にハンドル（A)を下に下げてロックしてください。調節後、背もたれが動かないようしっかり固定する必要はありますが、ハンドル（A)を固定する際、締めすぎないようにご注意ください。

ハンドルを解除する際は、急にシートが動かないように背もたれをしっかり支えてください。



JP ＜座面奥行き調節＞

付属の５ｍｍレンチで、シート両側のネジ（A)・シート裏ネジ（B)のを緩め、座面の奥行き調節を行ってください。（A,Bとも両側2箇所づつ)

調節後全てのネジを締めてください。

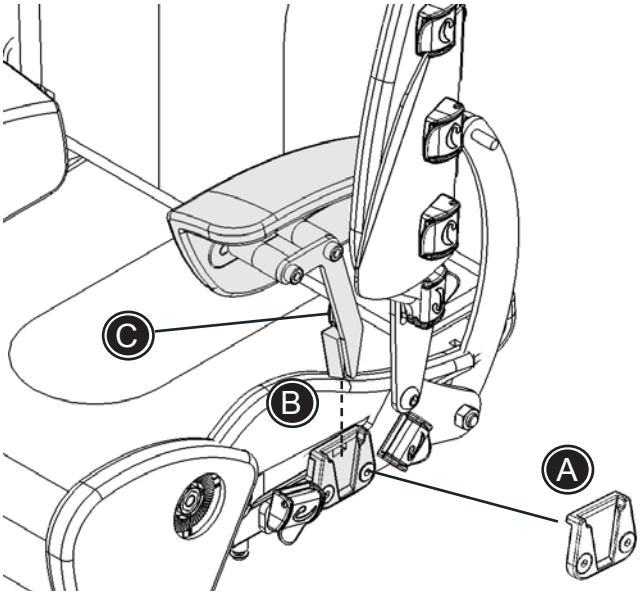
JP ＜ヒップサポート＞

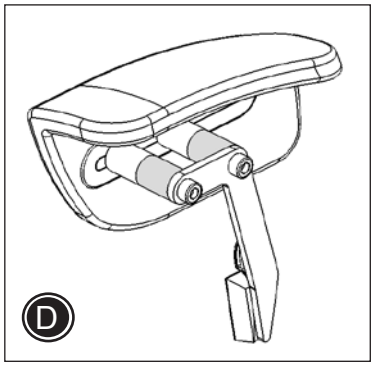
取付方法：
* 付属の５ｍｍレンチで、椅子の両側に受け部品（A)を取付けてください。
* ヒップサポートを受け部品に差込んでください。 完全に固定されると”カチッ”と音が鳴ります。

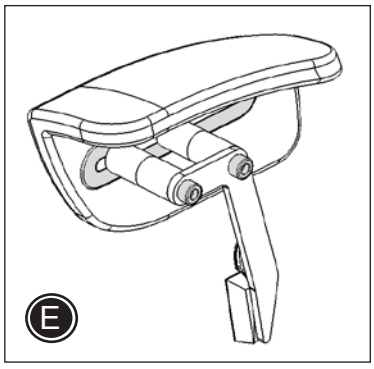
取外し方法：
* （C)をクリックして取外してください。

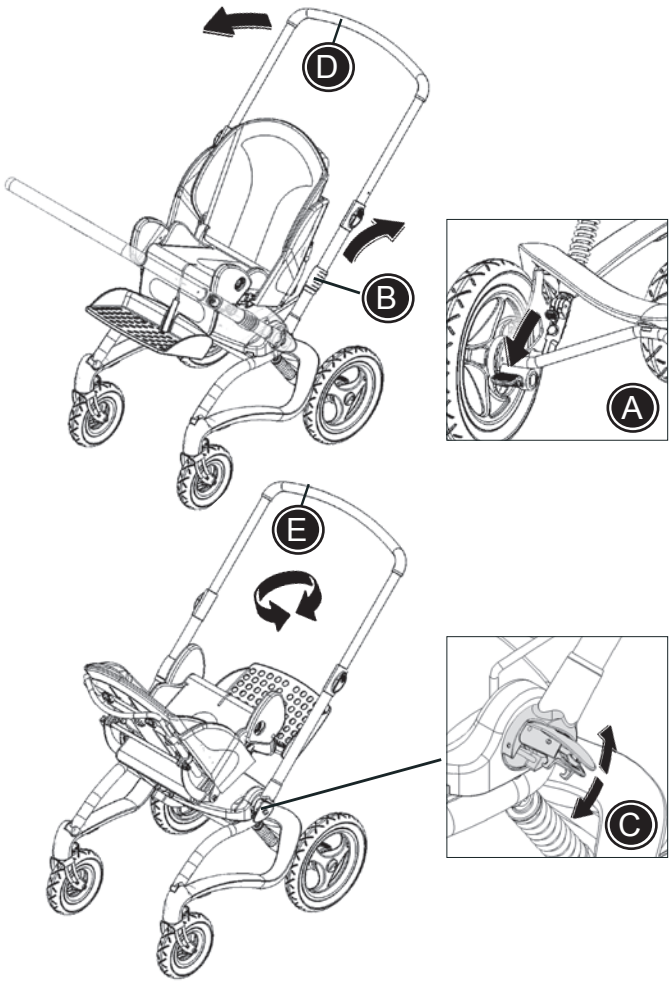
調節方法：
* 調整部品（C)を取付けて、幅調節を行ってください。
* スライドレール（E）の範囲内で奥行きの調節が行えます。

全ての調整やアクセサリーが正しい位置にセットされているか、ご使用前に必ず確認してください。









JP ＜対面式シート＞

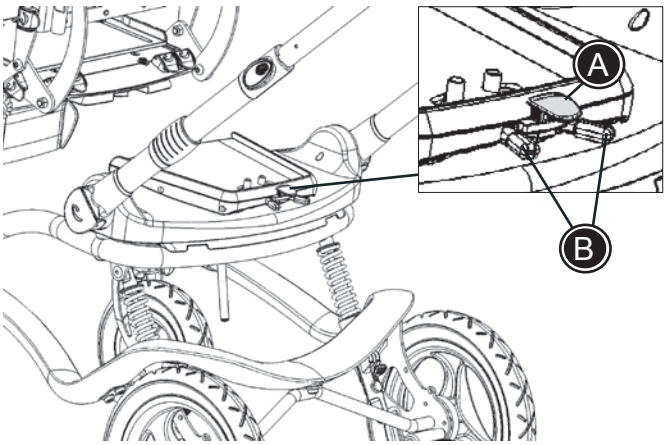
本製品は対面式でのご使用が可能です。

* ブレーキをかけてください。 (A)
* シートユニットを後方に倒してください。（ティルトリクライニング） (B)
* ロックハンドル (C)を解除してください。
* プッシュブレスを前方に倒してください。 (D)
* ハンドルをロックしてください。 (C)
* ”カチッ”と音が鳴るところまでシートユニットを回転させてください。 (E)

> シートユニットは1方向にしか回転しません。 正しい回転方向は、プッシュブレスに矢印で示されています。

The 対面は、お子様がシートに乗ったままでも行えます。

> シートを回転させる際、シートとフレームの間に指を挟まないよう注意してください。



JP ＜シート取付/取外し＞

> シートユニットを取付ける際、後部の赤いセキュリティーハンドル (A)が上に上がっているか確認してください。 また、シートユニットを取付けた後は、セキュリティーハンドル (A)を下に下げて確実にロックしてください。

* シートが完全にフレームに取付くと、”カチッ”と音が鳴ります。
* 赤いハンドル (A)を下に下げてください。

取外し：

* 赤いハンドル (A)を上に上げてください。
* 2箇所のハンドル (B)を同時に握って、シートを前方に引き、フレームから外してください。.

JP ＜保管方法＞

本製品はコンパクトになりますので、どこでも簡単に持ち運びできます。

2種類の保管方法があります。

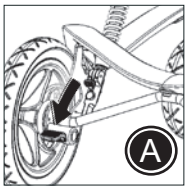
1) フレームにシートユニットを取付けた状態
2) フレームからシートユニットを取外した状態

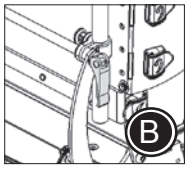
フレームにシートユニット取付けた状態：

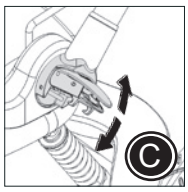
* ブレーキをかけてください。 (A)
* 背もたれを前方に倒してください。 (B)
* ロックハンドル (C) を解除してください。
* プッシュブレスを前方に倒してください。 (D)
* 部品 (E) を押下げてフレームを折りたたんでください。

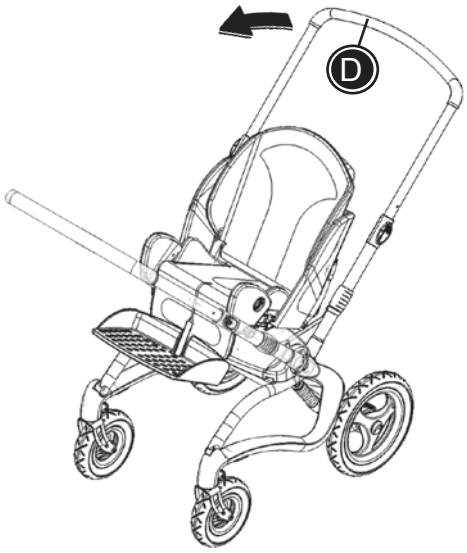
フレームからシートユニットを取外した状態：

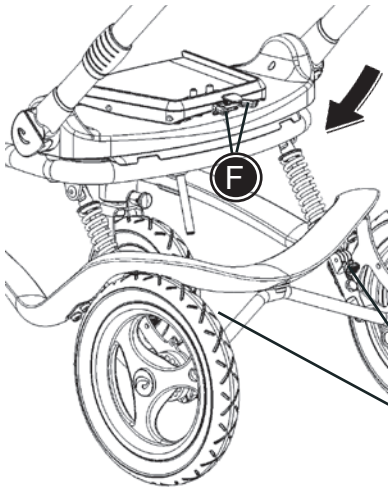
シート後部のロックハンドル (F) を解除してシートユニットを取外してください。 以降の手順は上述と通りに行ってください。

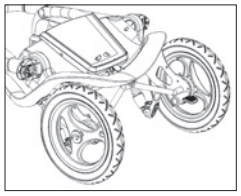


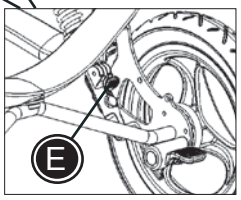


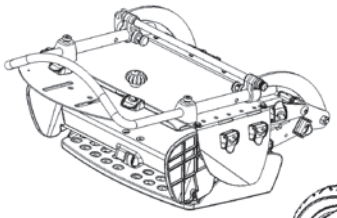


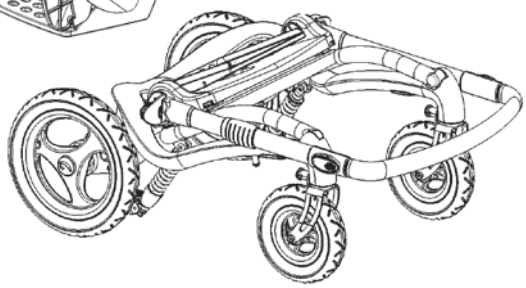












⚠ 上記操作の際、フレームとシートの間に指を挟まないように注意してください。

⚠ 本製品を保管される場合、日除けカバー・テーブル・ショッピングバスケット・ハンドブレス等は取外してください。

JP ＜お車での移動＞

Stingrayはお子様が車椅子に乗った状態のまま、お車で移動することが可能です。その際は、前方に向いた状態でセットしてください。

⚠ 特注の椅子の場合は、適用されませんのでご注意ください。

⚠ できる限りお車のシートに乗せた状態で移動されることをお薦めします。その際は、シートベルトでしっかり固定してください。

⚠ 本製品は、ANSI/RESNA WC/Vol.1-1998,section6.4.1,litracに関する力学的試験を受けています。

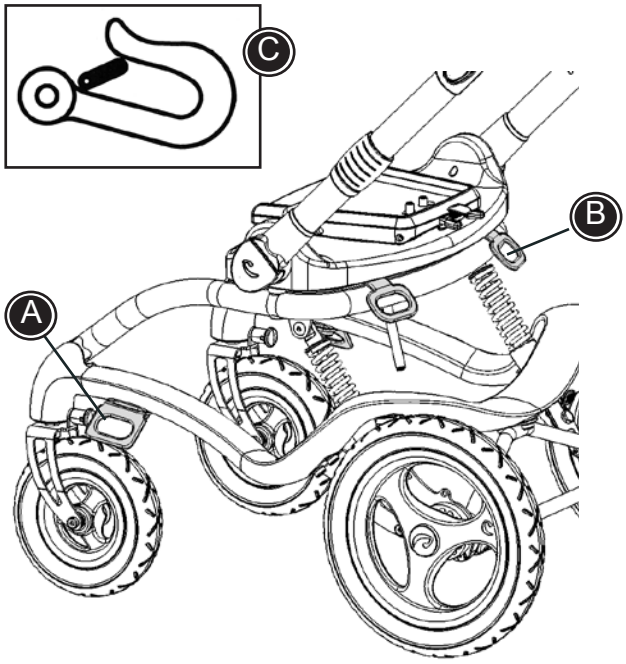
⚠ 3点式ベルトをご使用ください。 その際、ベルトの機能を妨げないために、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。

⚠ 前輪は、固定する前に、フレームの下でまっすぐになるようにセットしてください。

⚠ 全てのアクセサリーを車いすから外して別々に乗せてください。 取外せないアクセサリーがある場合は、衝撃を吸収できるパット等をお子様とアクセサリーの間に置き、安全に注意してください。

⚠ 自動車の衝撃を受けた後、再び車いすを使用される場合は、販売店から製品チェックを受けてください。

JP ＜移動の際のご準備について＞

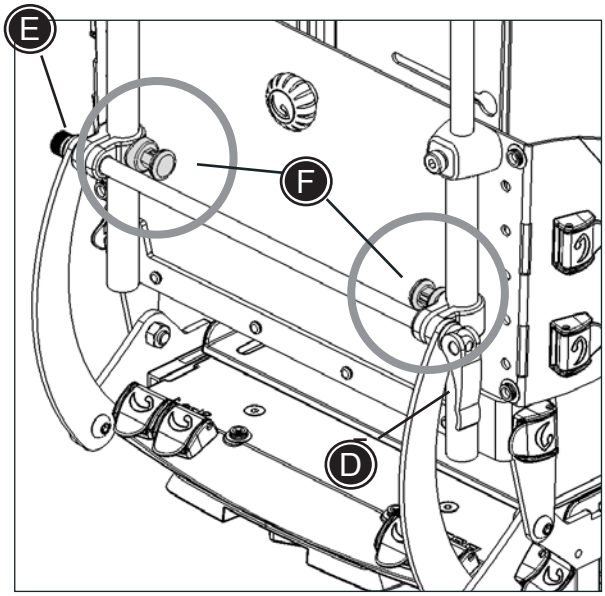


車載用固定金具：

* ５ｍｍレンチで、２つの車載金具（A)をフレームの両側の穴にそれぞれ取付けてください。

* ５ｍｍレンチで、2つの車載金具（B)を後方の穴にそれぞれ取付けてください。 車載金具（B)を図（C）のように取付けてください。

背もたれ位置：

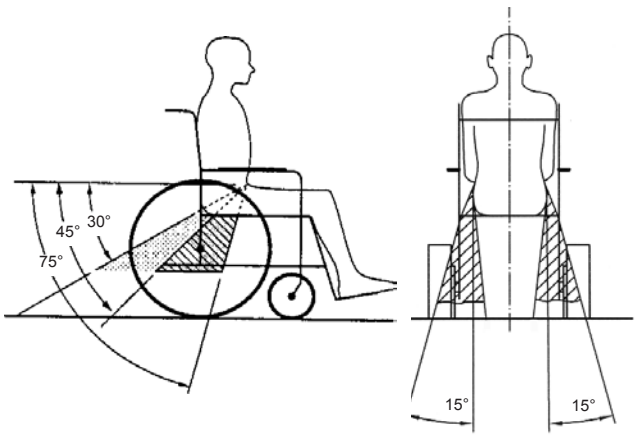


* 背もたれ右側のハンドル（D)を上に引上げてロックを解除してください。 ハンドルを握って、フレーム左側のノブ（E)を左回りに緩めてください。 背もたれを支えながら、両側の安全ロック（F)を引回してロックを解除してください。 背もたれを90度の角度に調節してください。

* 調節後、安全ロックを回して戻してください。 ロックはバーの最下部の穴に挿入してください。（完全に穴に挿入されると”カチッ”と音が鳴ります） ハンドル（D)を握って、ノブ（E)を締めてください。最後にハンドル（D)を下に下げて固定してください。

⚠ 背もたれを直角にセットし、移動中は安全ロック（F)を必ずセットしてください。

⚠ お車でご使用される際の耐荷重は最大４０ｋｇです。

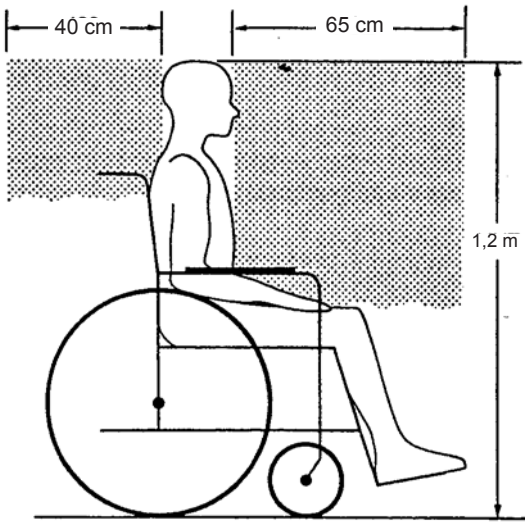


JP ＜お車での安全確保について（本体）＞

＊ 4点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。（手順書ご参照）

＊ 4点式ストラップタイプ固定システムを使って、椅子を安全に乗せてください。その際は、フック又は車載金具にストラップを通してご使用ください。

⚠ ISO規格１０５４２－２・SAEJ2249認証の4点式ストラップ固定システムをご使用ください。



車内での位置：

＊ 移動する前には、全てのアクセサリーを車いすから外してください。

＊ お子様は前向きにお座りください。

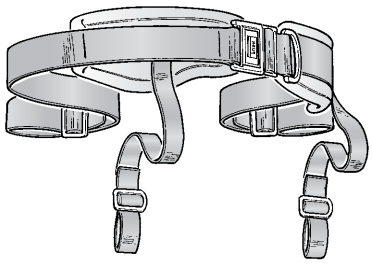
⚠ 車いす上でお子様が動かれる場合は、推奨された安全ゾーン(左図)を確保してください。

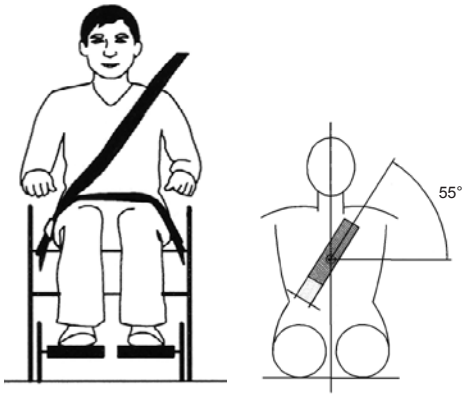
JP ＜お車での安全確保について（お子様）＞

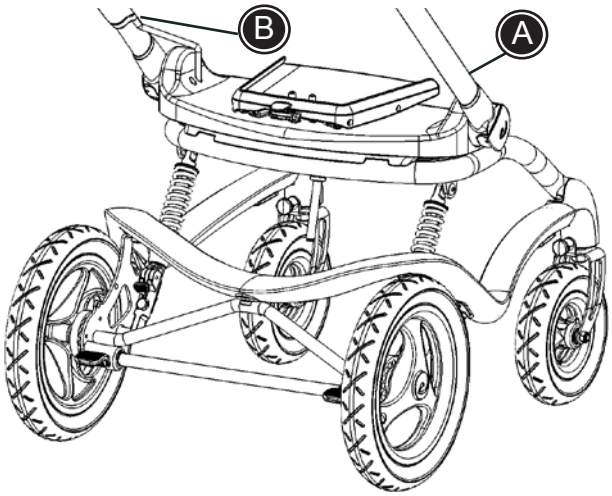
＊ 骨盤ベルトを固定部品に取付け、お子様の体をしっかりささえてください。

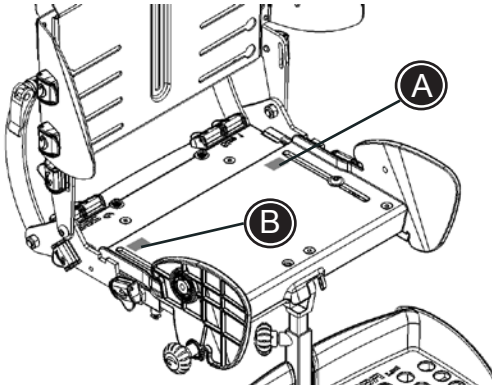
＊ 図のように、3点式ベルトを使ってお子様が動かないようにセットしてください。 ベルトはお子様の快適性を損なわない程度に、できるだけしっかり調節してください。 また、ご使用中にベルトがねじれないようにしてください。

骨盤ベルト、ISO規格１０５４２－１又はSAEJ２２４９認証の3点式ベルトをご使用ください。.









JP ＜製品識別＞

A) シリアル番号

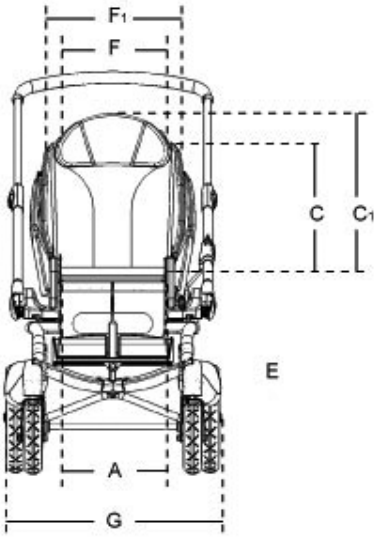
フレーム： プッシュブレス（右側）の内側最下部に、ラベルが貼付されております。

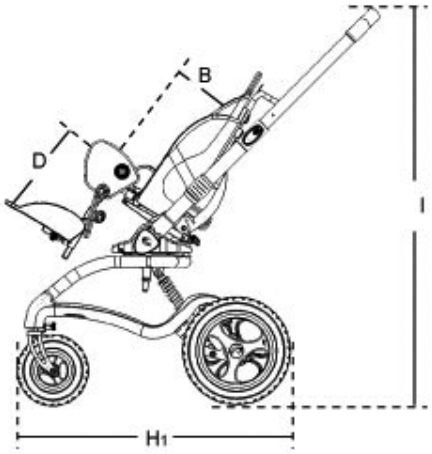
シート： 座シートの右側後部に、ラベルが貼付されております。

B) 製造者

フレーム： プッシュブレス（左側）の内側最下部に、ラベルが貼付されております。

シート： 座シートの左側後部に、ラベルが貼付されております。





JP

＜寸法表＞

	サイズ１ cm（inch）	サイズ２ cm（inch）
座面幅	30 (11¾”)	35 (13¾”)
座面幅（ヒップサポート取付時）	18, 22, 26 (7, 8½, 10¼")	23, 27, 31 (9, 10½, 12")
座面幅（ニーサポート取付時）	28 (11”)	33 (12¾”)
座面奥行き (B)	18-30 (7-11¾”)	25-40 (9¾-15½”)
背もたれ高さ（肩部まで） (C)	27-41 (10½-16”)	36-51 (14-19¾”)
背もたれ高さ (C_1)	41-55 (16-21½”)	50-65 (19½-25¼”)
フットサポート高さ (D)	14-45 (5½-17½”)	14-45 (5½-17½”)
座面までの高さ (E)	52 (20¼”)	52 (20¼”)
背もたれ幅（内内） (F)	30 (11¾”)	36 (14”)
背もたれ幅（外外） (F_1)	45 (17½”)	52 (20¼”)
フレーム幅 (G)	59 (23”)	59 (23”)
フレーム長さ（前輪自在式）	74 (28¾”)	74 (28¾”)
フレーム長さ（前輪大車輪）	84 (32¾”)	84 (32¾”)
全高 (I)	100,103,106 (39,40,41¼”)	100,103,106 (39,40,41¼”)
フットプレート （幅 x 奥行き）	31 x 20 (12 x 7¾”)	31 x 20 (12 x 7¾”)
フレーム長さ（折りたたみ時）	90 (35”)	90 (35”)
全高（折りたたみ時）	49 (19”)	49 (19”)
重量（フレームのみ）	13,5 kg (29,5 lb)	13,5 kg (29,5 lb)
重量（シートのみ）	5,5 (12 lb)	6,5 (14,5 lb)
耐荷重/お子様	40 kg (88 lb)	40 kg (88 lb)
耐荷重/お子様（車内でご使用の場合）	40 kg (88 lb)	40 kg (88 lb)
角度	ティルト：45°	背もたれ：170°

JP ＜メンテナンス＞

Stingrayのクッションカバーは取外して、最高40℃のお湯で洗うことができます。 但し、脱水はかけないでください。クッションが乾く時間をご考慮ください。定期的に、湿りのある布でお手入れされることをお薦めいたします。品質維持のため、フレームは清潔に保ってください。

各開閉部分につきましては、少なくとも6ヵ月毎にチェックと注油（潤滑油）してください。

車輪についた汚れや泥を拭き取る際には、乾いた布をお使いください。塩素や変性アルコールを含む洗剤は使わないでください。

本製品を安全にご使用いただくために、少なくとも6ヵ月毎に販売店による点検を受け、ネジの緩みがあれば締めてもらってください。

本取扱説明書に記載されていないアクセサリーの追加や調整は販売店にご相談ください。 各種ベルトは、各製品に付属されている取扱説明書に従って、取付けてください。

ロックが所定の位置にセットされているか、穴に油や汚れがついていないか定期的に確認してください。

少なくとも1ヶ月に1度は空気圧の確認と補充を行ってください。
空気圧： 前輪： 35 PSI/250 kPa, 後輪： 40 PSI/2,5 bar

JP ＜テクニカルﾃﾞｰﾀｰ＞

フレーム：	カーボンファイバー　ガラス繊維
シート：	アルミニウム
プラスティック部品：	ガラス繊維強化ポリアミド
クッション：	耐火発泡ウレタン
カバー	耐火性マイクロファイバー

JP ＜製造者＞

R82 A/S
Parallelvej 3
DK- 8751 Gedved

JP ＜販売店＞

Please find your distributor on www.R82.com